取 扱 説 明 書

ロータリーサンプラー

2ℓ -10 分割

筒井理化学器械株式会社

〒110-0003 東京都台東区根岸１－１－３１

ＴＥＬ０３－３８４５－２０１１

ＦＡＸ０３－３８４２－５８５２

Ｅ－mail：sales@e-tsutsui.com

仕　様

本器は、ホッパー容量 2ℓ で、1/10 縮分のロータリーサンプラーです。

電　　源

100V・35VA・50/60Hz

ホッパー

容　量・・・・約 20ℓ （ロート部、筒部）、SUS304 製

排出口径・・・φ20 mm

トラフ

寸　法・・・・外巾 25mm×長さ 250mm　SUS304 製

回転部

SUS 容器・・・0.5ℓ 、10 個（回転板とともに 2 式）

ギア比 30：1　ギアモーター（25W）使用、スピードコントローラー付

回転速度・・・・5～20 回/分（通常は 10 回/分程度とする）

付　属　品

ラボラトリージャッキ・・・・・ステンレス製

コード類・・・・電源コード、接続コード

取扱説明書・・・1 式

部　品　名

A　フィーダー本体（前面）動作確認用 LED‥‥フィーダーの動作時に点灯

（背面）電源コネクター‥‥‥4 ピン（信号も含む）
電源コネクター‥‥‥2 ピン（中）100V ブリッジ防止器用（使用せず）
信号コネクター‥‥‥２ピン（小）電子天秤用（使用不可）
（上面）トラフ取付け穴、支柱用穴

B　トラフ　　トラフ取付け金具

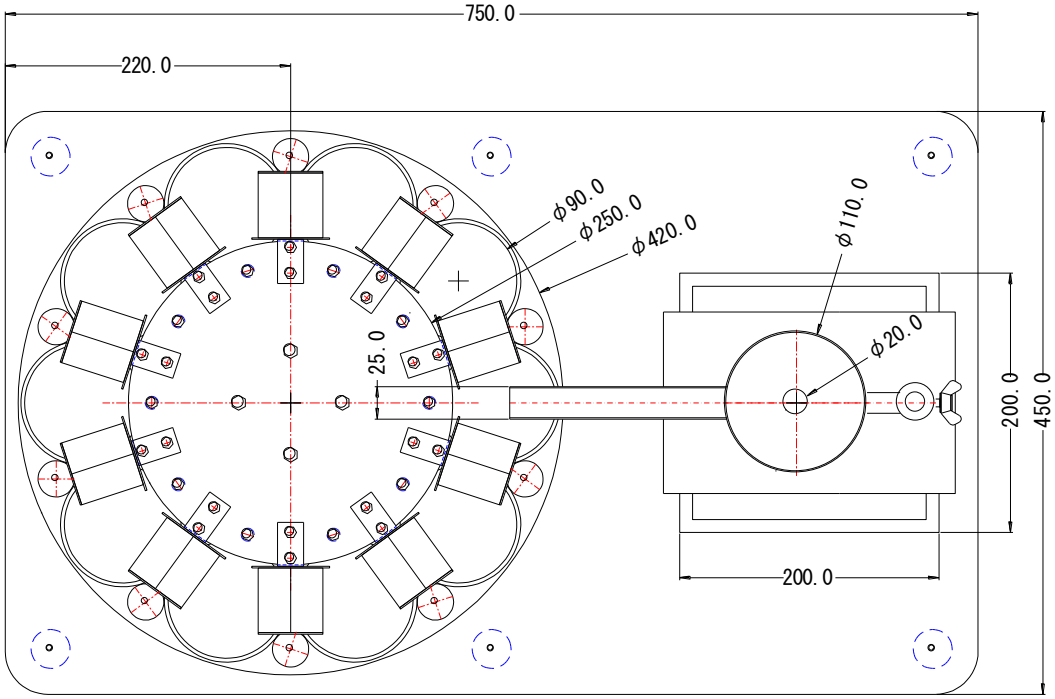
C　ホッパー　　ホッパー
ホッパー用スタンド棒
ホッパー固定蝶ネジ

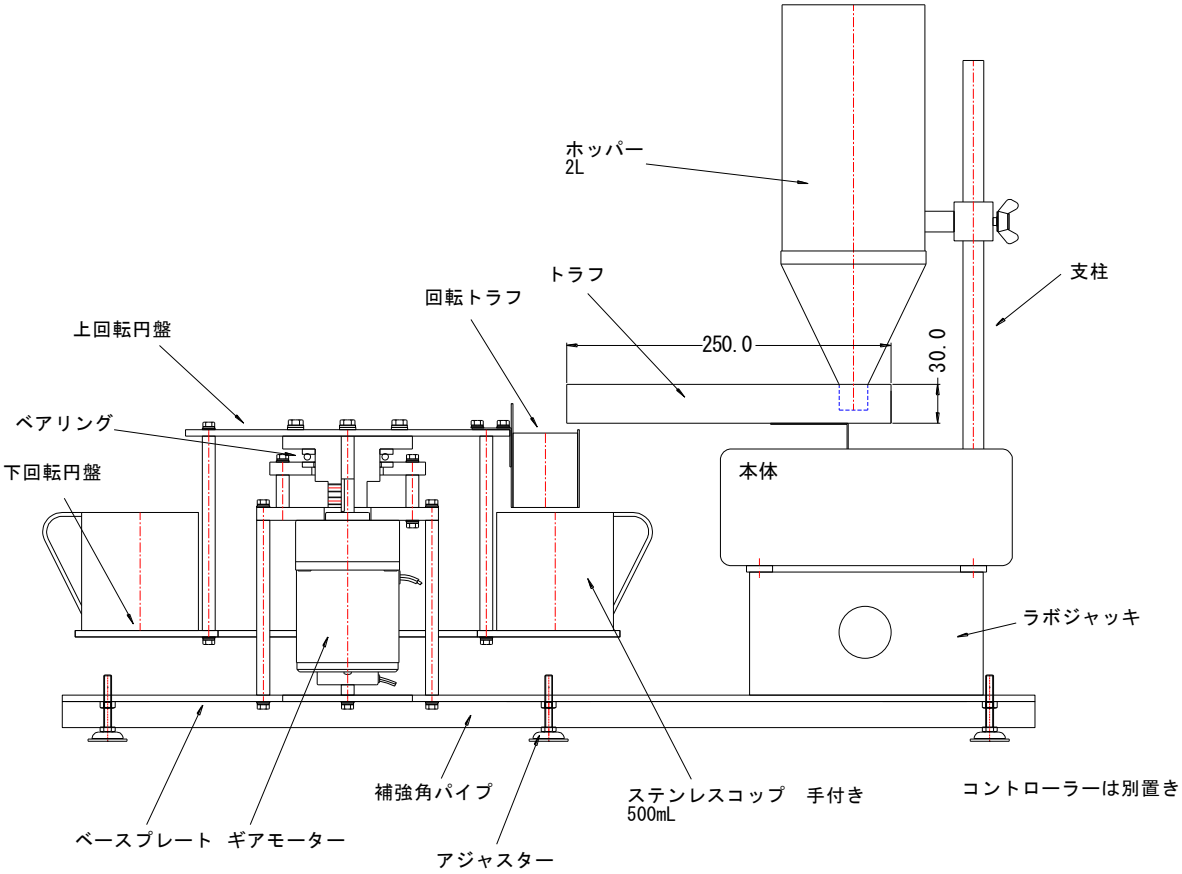
D　コントロールボックス
（前面）電源スイッチ
振動調節ボリューム
タイマー
スピードコントローラー
開始 SW
停止 SW
回転 SW
（背面）電源コネクター‥‥‥3 ピン
モーター用コネクター・・・・6 ピン
100V 電源コネクター・・・・2 ピン（使用せず）
ヒューズボックス・・・・・125V、5 A

E　その他　　電源コード、100V 電源コード
取扱説明書

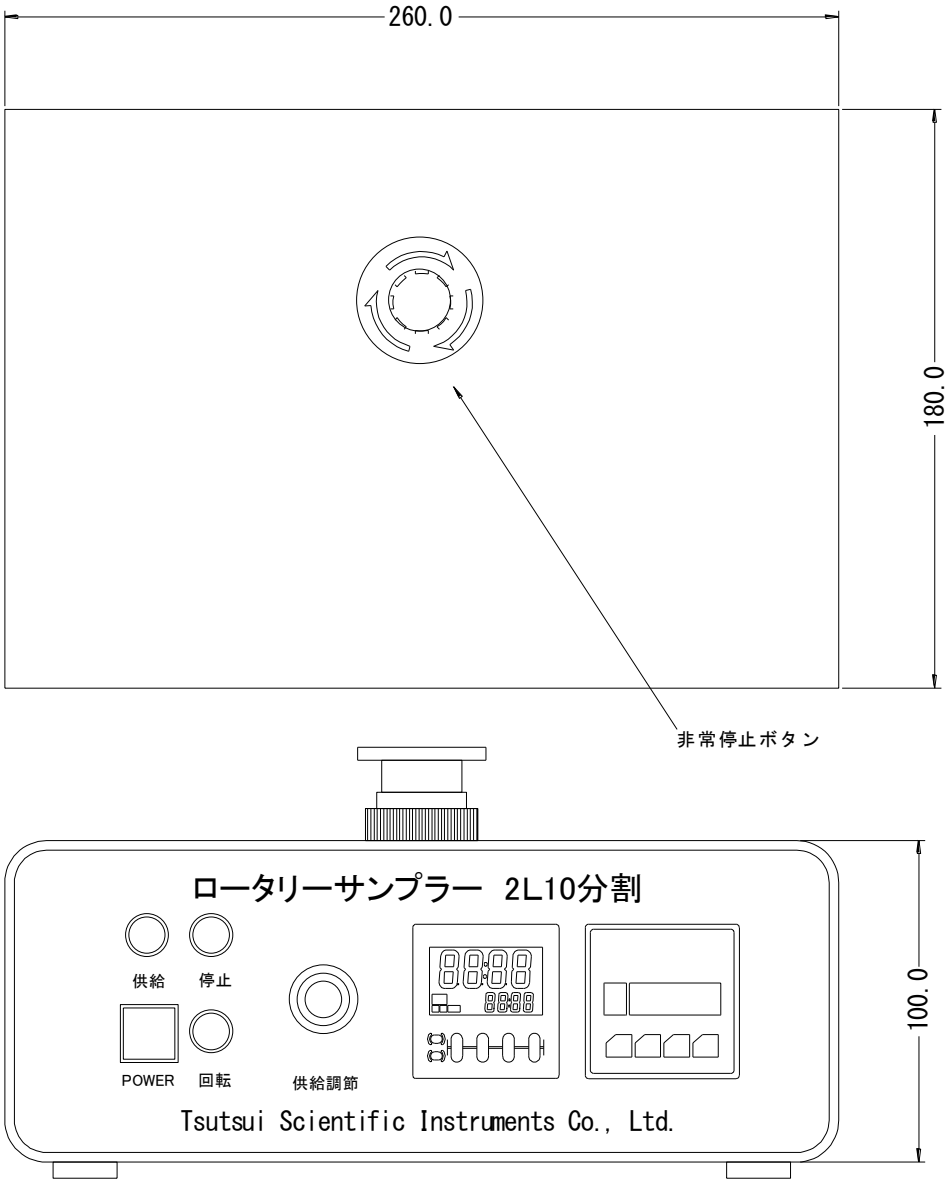
各部名称と機能

1．全　体


750.0
220.0
φ90.0
φ250.0
φ420.0
φ110.0
φ20.0
25.0
200.0
450.0
200.0


ホッパー
2L
トラフ
回転トラフ
支柱
上回転円盤
250.0
30.0
ベアリング
下回転円盤
本体
ラボジャッキ
補強角パイプ
ステンレスコップ　手付き
500mL
コントローラーは別置き
ベースプレート　ギアモーター
アジャスター

2．制御ボックス



電源 SW・・・POWER
供給調整・・・送り速度の調整用
　　出荷時には、5.0 に設定しています。
スタート SW・・・供給開始
ストップ SW・・・停止（タイマーにて停止した場合にも点灯）
タイマー・・・動作時間を設定します。
　　タイマーの設定は、青色スイッチの UP、DOWN で行います。
　　時間は、4 桁（最大 99 分：最大 60 秒）で設定します。
　　設定しましたら、RESET スイッチを押して設定完了です。
　　出荷時には、20 分 00 秒に設定してあります。

回転 SW・・・・回転開始

電源 SW 投入時、自己診断します。この間、回転 SW を押しても回転は開始しません。表示が０になるまで待ってから、回転 SW を投入して下さい。

スピードコントローラー・・・・回転速度調整用。

↑もしくは↓を押して、回転速度を調整し、SET キーを押して設定します。出荷時には、10 回/分に設定してあります。

緊急停止 SW・・・・緊急停止用

押すと緊急停止します。解除は、ノブを右に回します。

使　用　方　法

１．梱包を開き、付属品の確認をして下さい。
２．電源スイッチが OFF であることを確認して下さい。
３．本体を水平な場所に設置しコネクター類を接続して下さい。
４．ホッパーに供給する試料を、粉スコップ、薬匙、等で静かに投入して下さい。（振動を与えて粉体が固まらないように注意下さい）
５．電源スィッチを ON にしてしばらくすると、本体のスピードコントローラーの表示が０になります。制御ボックスの回転ＳＷをＯＮにするとモーターが回転します。スピードコントローラーの表示が０になる前に回転 SW を ON にしても回転しませんので注意願います。
６．その後、振動調節ボリュームを回して、コントロールボックスの開始スイッチを押すとトラフが振動し試料がトラフ上を移動します。
７．単位時間の排出量を計量し、振動調節ボリュームなどにより供給量を調整して下さい。供給量の調整は、次節を参照願います。
８．必要に応じてタイマーの時間を設定して下さい。
９．他の試料を供給する時は、残っている粉体を出来るだけ排出し分解、清掃、洗浄してください。

供給量の調整

１．　振動調節ボリュームにより供給量を調整します。

２．　ホッパー排出部とトラフの間隔をかえる。間隔を調整することにより、トラフ上の試料の厚みが変わり試料の供給量が変わります。

３．　さらに、供給量が通常の調整では足りない場合は、内部の調整で供給量を変化させることができます。また、ホッパーの排出口径およびトラフの幅を変えることにより、供給量の調整ができます。これらの場合は、弊社に問い合わせ願います。

御　注　意

※　試料の流動性、乾燥状態、粒度、その他粉体特性によりホッパーでブリッジをしたり、詰まったりし供給できない場合があります、御注意下さい。

※　ブリッジを起こす場合は、別売りブリッジ防止器があります。（試料の流動性、粉体特性、供給量等により使用できない場合もあります）

※　試料をホッパーに投入する時、スコップ等で静かに投入し、振動等を与えずに蜜充填にならないよう御注意下さい。

※　本器は電源周波数（50／60Ｈｚ）により振動が大きく変わります。

※　電源電圧の変動する場合には、振動が変化するため定量性が悪くなります。精度良く供給する場合は定電圧装置をご使用下さい。

※　本体には水が掛からないようにして下さい。（故障の原因となります）